３　学習の展開

	学習活動と主な発問 （○主な発問、◎中心発問）	児童の発言	教師の支援と評価
導入	１　学校を休んでいたときの気持ちを発表する。 ○風邪などで学校を休んでいたとき、どんなことを考えていましたか。	・今ごろみんなは何をしているかな。 ・みんなに会いたいな。 ・みんな心配しているだろうな。	・友だちの話を顔を見て聞いたり意見を話し合いやすいようにコの字型の座席配置にしておく。
展開前段	２　資料「学きゅうえんのさつまいも」を読んで、話し合う。 ○みち子は学校を休んで家で寝ているとき、どんなことを考えていたでしょう。 ◎よし子が届けてくれたさつまいもと手紙を見て、みち子はどんなことを思ったでしょう。 ○みち子が「教室の友達に話したい」と言っていますが、どんなことを話したと思いますか。	・みんなと芋掘りしたかったな。 ・学校に行ってみんなと遊びたいな。 ・私のこと心配してくれているかな。 ・よし子さん、ありがとう。 ・心配してくれてうれしいな。 ・よし子さんと友だちでよかった。 ・今度誰かが休んだら、よし子さんみたいにしてあげたい。 ・すごくうれしかった。	・場面を想起しやすいように、読み聞かせで使った場面絵を掲示する。 ・自分の考えを深めるため、思いを持ちにくい児童が考えをもてるようにグループで自分の考えを伝え合ってからワークシートに書く。 ＊ワークシートにみち子の思いを書くことができたか。 ・発表しなかった児童も自分の考えを表現するために、板書に意見を書いた後に自分の考えがどれに近いかを挙手させる。 ＊みち子の親切にしてもらってうれしい気持ちに共感できたか。 ・みち子が人に伝えたいくらいうれしい気持ちであったことに気づけるように「どんなときに人に話したいと思うか」問いかけたい。
展開後段	３　自分たちの生活をふり返る。 ○友達のことを思って助けたりやさしくしたりしたことやされたことを思い出しましょう。	・物を貸してあげた。 ・けがをしているときに大丈夫？と声をかけた。かけてもらった。 ・風邪で休んでいるとき、連絡帳を持ってきてくれた。	・したことを思い出せない児童にはされたことでもいいことを伝える。 （ワークシート） ＊思い出して、発表できたか。
終末	４　教師の説話を聞く。		・子どもたちが共感しやすいように学級での最近の話を取り上げる。